



現千葉県議会議員

# 岡村やすあき



## 教育1 いじめ問題

学ぶ力を育てる教育を推進するなかで、個性や独創性を伸ばす教育の実現に努めます。

### 「いじめ」問題について

今、子ども達の生活のなかで、「いじめ」が大きな問題となっています。

いじめは、「からかい、ひやかし、脅し」等から始まって、「集団での無視、うっせえばらし、怒り、憎しみ、暴力の行使」と、だんだんエスカレートしていく傾向があります。

最近では、いじめ方が非常に陰湿になり、屈折しているものさえも見られるようになってきました。あまりのひどさに耐え切れず、自殺する子どもが続出し、大きな社会問題となっています。

いじめの原因としては、今日の子どもの心の問題、つまり、「善悪の判断がつかなくなったり、自製の心に欠けたり、他人の心の痛みがわからない」など、子どもの心の荒廃が深く関わっていると考えられます。

いじめは、学校生活や子どもの日常生活における人間関係から派生し、弱い者や質の違う者を排除する傾向が顕著になってきます。また、家庭における「しつけ」の緩みや、学力偏重の家庭教育によるストレス等も、いじめを生み出す背景になっています。

そして、加害者も被害者となり得るたいへん複雑な構造を持っています。



「未来ある子どもが自らの命を絶つ」、このことだけは、なんとしても止めなくてはなりません。生きてさえいれば、必ず笑顔で過ごせる楽しい日々がくることを信じて……。

いじめで悩んでいる子どもには、まわりにだれか話せる人が必ずいるはずなので、悩みを自分ひとりで抱えこまず、勇気を出して話して欲しいと思います。

それには、家庭・学校・地域の人々がお互いに協力し合い、子どもが、だれかに話すことが出来るような環境を整えることが必要です。

私の立場からは、「いじめ」問題の施策として、次の二点の実現を図っていきます。

一、各校に、いじめ対策を中心とした生活指導担当のカウンセラーを配置できるように努めます。いじめられる子どもと、いじめめる子どもの心の真実や、悩み等を深く共感できる指導者を配置するよう努めます。

また、教師や父母との対話によって、いじめ問題の解決をはかっていくように努めます。

カウンセラーには、子どもの生活指導に優れた経験を持つ教職退職者や、民間の経験者等を起用します。

二、各校に、教職員や父母・地域の人達で構成した「いじめ対策プログラム委員会」のプロジェクトを設置します。そこで、「いじめ」の追跡調査、指導の援助、指導結果の評価、学校との向き合い等を行い、積極的な「いじめ」問題の対策を進めていきます。

### 教育に関する重点目標

- ・ 基礎・基本的学力の向上をめざし、少人数教育を推進します。(25人学級の実現)
- ・ 学校・家庭・地域社会が連携した教育体制を確立します。
- ・ 生徒指導の向上を図り、いじめ・不登校・非行等の対策と指導の充実に努めます。
- ・ 生涯学習の推進に努め、公民館・図書館・学校開放等の施設の整備や内容の充実に努めます。

